

Ⅰ 令和元年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行う。

② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行う。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舍の管理運営や外国人学生支援を行う。

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行う。

(2) 事業報告

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞

アジア地域の学術研究者と芸術文化の育成・発展に顕著な業績をあげた個人または団体に対し、その功績を顕彰した。

(ア) 主 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団
運営母体 福岡アジア文化賞委員会
事務局 福岡市総務企画局国際部内

(イ) 内 容

・第30回記念パネル展

(8/22~9/24, 福岡アジア美術館・福岡国際会議場)

・福岡アジア文化賞授賞式(9/9~9/10, 福岡国際会議場他)

受賞者 大賞 1名, 学術研究賞 1名, 芸術・文化賞 1名

市民フォーラム 各受賞者 1回

(9/12~9/13, アクロス福岡・福岡市科学館)

学校訪問 大賞受賞者 1校(中学校 9/13)

学術研究賞受賞者 1校(中学校 9/12)

芸術・文化賞受賞者 1校(高等学校 9/13)

・共催事業

福岡市総合図書館, 映像ホール・シネラ実行委員会

福岡アジア文化賞 30 周年記念上映(7/10~7/15)

大賞受賞記念上映会(9/10~9/11)

九州大学講演会(9/11, JR 博多シティ)

基調講演「Climate Change and Social Impacts in
Southeast Asia:Preliminary Thoughts
and Fact」

(パースック・ポンパイチット&クリス・ベーカー)

パネルディスカッション(末廣昭, 清水展他)

・特別展:中村哲氏の功績(12/12~12/23, 福岡アジア美術館)

イ 「アジア太平洋こども会議・イン福岡」助成

アジア太平洋各地のこどもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「アジア太平洋こども会議・イン福岡」事業へ助成を行った。

(ア) 主 催 NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡

(イ) 事業内容 派遣(12 か国・地域, 213 名) 招聘(46 か国・地域, 297 名)

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成

福岡市民の国際交流を支援し, 福岡市の国際化を推進するため民間団体の国際交流事業等に対して助成を行った。

(ア) 国際交流活動助成

a 助成の金額及び対象となる経費

【一般型】 助成対象経費の 5 割以内で, 1 件 30 万円以内

【チャレンジ 応援型】助成対象経費の 8 割以内で, 1 件 10 万円以内

b 募集時期 随時

c 助成件数 3 団体(一般 3 件 チャレンジ 0 件)

d 助 成 額 828,982 円

(イ) 国際交流活動人材育成費助成

a 助成の金額及び対象となる経費

1 団体あたり 1 年度の助成額は 2 万円まで

対象団体の運営従事者が, 当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費, 教材費, 交通費, 宿泊費等

b 申請時期 受講する講座等開催日の 1 月前まで

c 件 数 0 件

イ ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

(ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人が日本の家庭に滞在・訪問することにより相互理解と友好親善を図るために、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

- a 登録家庭数 84 家庭
- b 利用者数 68 名(26 개국・地域)

(イ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じ福岡市のイベントや学校における保護者面談などに派遣した。

- a 登録者数 実数 117 名 延べ 150 名(複数言語での登録者計)
- b 登録言語数 18 言語
- c 延べ活動者数 88 名

(ウ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解や外国人支援等のボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため研修会を実施した。

- a 日 時 令和2年1月 26 日 10:00~13:30
- b 会 場 福岡市国際会館 大会議室
- c 内 容 第 1 部 講演「いっしょにやる、ということ～ボランティアが生み出すチカラをまちのチカラへ」
講師:認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター
協会運営委員 加留部 貴行 氏
第 2 部 懇親会・意見交換
- d 参加者 30 名

ウ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催した。これにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を身に着けるとともに、言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

なお、G20 福岡を記念して、イタリア語とドイツ語の講座を新たに実施した。

- a 共 催 福岡市
- b 内 容 中国語, 韓国語, ベトナム語, タイ語等 19 言語, 31 講座を実施
- c 定 員 各クラス約 20 名
- d 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する, または福岡市内に在住の留学生
- e 受講者数 502 名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州内
- c 実施時期 年4回(春, 夏, 秋, 冬) 各3か月
- d 講座数 274 講座
- e 受講者 3,295 名

(ウ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催で、コンテストを開催した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 構成団体 日本語学校及び日本語教室 16 団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団, 福岡市,
福岡外国人学生支援の会
- b 事 務 局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実 施 日 令和元年 10 月5日
- d 会 場 福岡市役所 15 階講堂
- e 出 場 者 16 名
- f 聴 講 者 222 名

(エ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
- 構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団,
(公財)福岡県国際交流センター, (公財)北九州国際交流協会
- b 事 務 局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 平成 31 年4月～令和2年3月
- d 派遣人数 延べ 22 校へ 53 名(福岡市内)
- e 参加児童・生徒 4,129 名(福岡市内)

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 地球市民どんたく

1999年(平成11年)から20回の節目を迎え、当初の目的である市民の国際協力・交流に対する意識向上やNGO等の各団体のネットワーク形成に一定の成果があったとの認識のもとに、平成31年3月31日に実行委員会を解散し事業を終了した。

(イ) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織で、各団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会
- 構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等 71 団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 4 月(通常)
- 連絡会 4 月, 6 月, 8 月, 10 月, 12 月, 2 月
- d 参加人数 186 名(会員参加 170 名, 一般参加 16 名)

オ 国際交流推進

(ア) 姉妹都市等との連携・交流

姉妹財団である釜山国際交流財団と連携し、同財団が主催する事業、グローバルギャザリングに3名が参加し、福岡市の紹介などを行った。

令和元年 5 月 19 日実施。

(イ) 福岡市国際会館まつり

国際化事業の推進活動拠点である福岡市国際会館において、地域住民と在住外国人の相互交流・理解を深めるきっかけづくりのための交流イベントを外国人学生歓迎交流事業と共同で開催した。

- a 実施日 令和元年 11 月 24 日
- b 会 場 福岡市国際会館4階
- c 参加者 201 名(外国人 93 名, 日本人 108 名)

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 一般相談・情報提供

福岡市国際会館において、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施。相談業務においては、平成 31 年4月から「福岡市外国人総合相談支援センター」を設置するとともに電話通訳サービスを導入し、4言語対応から 18 言語対応に拡充した。また、ホームページや Facebook 上においても随時、情報を発信した。

(ア) 英語, 中国語, 韓国語, 日本語ほか, 電話通訳で 18 言語対応による
窓口相談

- a 来場者数 8,044 名
- b 窓口相談数 1,780 件(うち外国人 606 件)

(イ) 無料 Wi-Fi の利用提供

(ウ) 図書, 新聞, パンフレット等の資料収集・提供

- a 図書貸出数 317 冊

(エ) 外国語情報紙(英・中・韓)の発行

- a 英語版 4,500 部/隔月, 中国語・韓国語版 各 2,000 部/隔月

(オ) ホームページ, Facebook 及びメールマガジンによる情報提供

- a メールマガジン登録者数 1,690 名

(カ) 区役所窓口での通訳支援(語学ボランティア派遣)

令和元年度は派遣依頼無し

(キ) リビングイン福岡及びにほんご Class Map の発行

α リビングイン福岡 ホームページに掲載

β にほんご Class Map 6,300 部(令和元年 9 月発行)

イ 外国人専門相談

福岡市国際会館において、在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

(ア) 外国人法律相談

法律、慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月2回(第1土曜日・第3水曜日)開催した。

α 実施回数 16 回

β 相談者数 22 名(15 か国)

(イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会と共催で正確な情報提供と助言をした。英語と中国語の通訳が常駐し、月1回(第2日曜日)開催した。

α 実施回数 12 回

β 相談者数 55 名(17 か国・地域)

(ウ) 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、臨床心理士が日本語または英語で行った。予約制で、週3回(月・火・木曜日)開催した。

α 実施回数 延べ 322 回

β 相談者数 38 名(13 か国)

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、財団が行う事業や福岡市国際会館のPRを、福岡の外国語放送ラジオ局であるラブエフエムを通じて、英語・中国語・韓国語に加え、新たにネパール語・ベトナム語の5カ国語で広報した。

(ア) フクオカシティインターナショナルセンター・インフォメーション(3分番組)

財団が行うイベント情報や生活情報等を、毎月第4週の月、火、水、土、日曜日に放送した。

放送回数 60 回

(イ) スポットCM(20 秒番組)

福岡市国際会館の外国人向けサービスの紹介を、春秋(4, 9, 10, 3 月)に集中的に放送した。

放送回数 186 回

エ 在住外国人のための日常生活アドバイス

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡にきた外国人を対象とした自転車と交通ルール、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。また、DVD、インターネット動画による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア) 実施主体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団,
福岡市(市民局, 環境局, 各区役所)

(イ) 実施件数 27 件

(ウ) 受講者数 1,001 名

オ 福岡市国際会館管理運営

福岡都市圏の大学に在籍する外国人学生向けに比較的安価で良質な住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

(ア) 施設概要 4 階 国際交流フロア(貸会議室等5室)
5 階 世帯用宿舎(2DK5戸)
6-9階 単身用宿舎(1ルーム54戸)

(イ) 国際交流フロア 利用件数 2,722 件
利用者 24,417 名

カ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で、市民ボランティアの協力参加を得て日本語おしゃべりサロン、外国人学生が語るふるさとの街と福岡、外国人学生歓迎交流事業、あったかスポットギャザリングや情報普及事業を行い外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

(ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団

(イ) 事 務 局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内

(ウ) 実施内容

- ・日本語おしゃべりサロン 毎月第1, 第3木曜日(805名参加)
- ・外国人学生が語るふるさとの街と福岡 毎月第3木曜日(350名参加)
- ・外国人学生歓迎交流事業 令和元年11月24日 実施(201名参加)
※国際会館まつりと共同開催
- ・あったかスポットギャザリング 10回実施(117名参加)

キ 日本語ボランティア養成講座

民間ボランティア団体が運営している日本語教室において、在住外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施した。また、講座修了生のボランティア活動を支援する目的で、新たにフォローアッププロジェクトを開催した。

(ア) 日本語ボランティア養成講座

- a 実施時期 令和元年8月20日～10月15日(10回)
- b 会場 福岡市国際会館4階
- c 受講者数 388名(延べ人数)※他に一般公開講座を1回実施(受講者数67名)

(イ) 日本語ボランティア養成講座スキルアップ研修

- a 実施時期 令和2年2月13日～3月24日(6回)
- b 会場 福岡市国際会館4階、アクロス福岡2階セミナー室
- c 受講者数 第1回29名、第2回30名
※新型コロナウイルス感染症により、第3回以降は中止。

(ウ) 日本語ボランティア養成講座フォローアッププロジェクト

- a 実施時期 令和元年10月29日～12月24日
勉強会(2回)、日本語教室(6回)
- b 会場 福岡市国際会館4階
- c 受講者数 勉強会60名、日本語教室207名(延べ人数)

ク 地域の国際交流

生活者としての外国人が増加する中、地域住民と在住外国人が共生するための相互理解を図ることを目的に、平成31年4月から新たに共生コーディネーターを配置し、区役所や日本語学校等と連携し、地域において日本人と在住外国人がお互いに出会うきっかけをつくり、地域の国際交流を促進するための支援を行った。

- (ア) 実施件数 16件(東区4件、博多区1件、中央区6件、南区2件、西区3件)
※料理交流会、餅つき大会、夏祭り、町歩きボランティア養成講座など

- (イ) 支援内容 広報チラシや防災マップの翻訳、通訳派遣、講師紹介、広報協力など

④ グローバル人材を育成する事業

ア 福岡市国際財団奨学金

海外から新たに福岡へ留学し、福岡での就業・創業を希望する外国人留学生の学習環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やし、地域の国際化と地元定着の促進に寄与するために奨学金を給付した。

- (ア) 給付金額 50,000円/月
- (イ) 給付人員 14名
- (ウ) 給付対象期間 学部4年間/修士2年間

イ よかトピア留学生奨学金

前身の(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金をもとに、地場企業での就業体験を通じた海外高度人材の地場企業への定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に地場企業での就業体験の機会を提供するとともに、奨学金を給付した。

(ア) 給付金額 60,000 円／月

(イ) 給付人員 5名

(ウ) 給付対象期間 1年間

ウ 留學生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留學生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を給付した。

(ア) 給付金額 500,000 円／年または 300,000 円／年

(寄付者の希望により決定)

(イ) 給付人員 13 名

(ウ) 給付対象期間 寄付者の希望により決定(1年単位以上)

(エ) 奨学金創設者 7団体

エ 日本人大學生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大學生の留学を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、さらに福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で創業・就職を希望する日本人大學生の海外留学へ奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、福岡商工会議所と共同で地場企業との交流会、留学前・留学中・帰国後に就職活動支援や研修等を行うフォローアップ事業を実施した。

(ア) 貸与金額 最大 1,200,000 円/年(留学先及び期間により異なる。福岡で創業または就職した場合は返還免除。)

(イ) 貸与人員 7名

(ウ) 貸与対象期間 1年間(5名), 半年間(2名)

(エ) 交流会 令和元年6月13日 参加企業9社

(オ) 認定証交付式 令和元年7月23日

(カ) 留学前研修 令和元年7月20日

(キ) 留学中・帰国後のフォローアップ 個別に随時実施

オ 留学生と企業との交流サロン

福岡で就職を希望する留学生と、グローバル人材としての留学生に関心を持つ地場企業を対象に、普段着でざくばらんな会話を通じ「生の留学生像」「企業が求める留学生像」「日本の企業文化」など、留学生と企業の相互理解を深める場として経済団体等と共催で交流会を開催した。

(ア) 実施日 令和元年 11 月 8 日, 12 月 10 日

(イ) 参加者 留学生 64 名, 企業 44 社 (58 名)

(ウ) 共 催 福岡・大連未来委員会, 福岡県中小企業家同友会

(3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は, ありません。

【理事会及び評議員会の開催状況等】

会議名	開催日	内 容
理事会	H31.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事・評議員の推薦に関する件
評議員会	H31.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事・評議員の選任に関する件
理事会	R1.5.29	議案審議 ・平成 30 年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件
評議員会	R1.6.26	報告 ・平成 30 年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・平成 31 年度事業計画及び収支予算に関する件 議案審議 ・平成 30 年度貸借対照表, 正味財産増減計算書, これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・役員の任期満了に伴う次期役員の選任に関する件 ・評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任に関する件
理事会	R1.6.26	議案審議（決議の省略による） ・理事長・専務理事の選任に関する件
理事会	R1.9.30	議案審議（決議の省略による） ・評議員の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R1.9.30	議案審議（決議の省略による） ・評議員の選任に関する件
理事会	R2.3.16	議案審議（決議の省略による） ・令和2年度事業計画及び収支予算案等に関する件